

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課	
方針① 今回の災害による教訓を生かし、新たな防災体制を整えます。								
施策ア 津波に対する防災体制を見直します。								
1 ◎	地域防災計画整備事業	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済	有	【現状】 ・震災対応について検証中 ・国・県の計画改定による市計画への反映部分を精査中 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた計画の策定	防災管理室
2 ○	集積木材等流出対策事業	大船渡港に野積保管され、津波による流出により被害を拡大する恐れのある木材などの流出防止対策 ・対象:コンテナ、木材など ・場所:大船渡港の物揚場または周辺施設 ・方法:固縛、フェンス、防潮堤、第2線堤などによる流出防止対策について、大船渡港に最適な方法を検討、実施	国・県	H23～	検討中		【現状】 ・これまで木材を取り扱っていた事業所が再建を断念したことから、大船渡港の木材取扱量が激減する可能性がある 【課題】 ・今後の大船渡港の取扱物に係る企業などの動向について、情報を収集する必要がある	港湾経済課
3 ○	避難誘導標識等設置事業	・避難誘導標識 ・避難誘導灯 ・津波水位標(東日本大震災) ※設置場所などは、今後のまちづくりにあわせ検討	市	H24～	検討中	※有	【現状】 ・整備箇所を検討中 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた整備	防災管理室
○	防災・連携道路ネットワークの整備【再掲】	広域的な防災・連携機能を発揮するための三陸縦貫自動車道、国道、県道及びそれらと連絡する道路の整備 ・三陸縦貫自動車道吉浜道路 ・国道397号(早期改良) ・三陸縦貫自動車道新インター ・市道滝の沢線(三陸インター接続)	国・県・市	H23～	着手済		【現状】 ・三陸縦貫自動車道吉浜道路は工事着手済 ・その他の路線などは事業計画を検討中 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある	建設課
施策イ 新たな住宅地造成などに関連して、土砂災害などに対する防災体制を見直します。								
◎	地域防災計画整備事業【再掲】	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済	有	【現状】 ・震災対応について検証中 ・国・県の計画改定による市計画への反映部分を精査中 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた計画の策定	防災管理室
施策ウ 防災施設の充実・強化を図りながらも、防災施設に偏らない防災体制を整えます。								
◎	防災センター整備事業【再掲】	防災拠点施設である防災センターの整備 ・市民の安全で安心な暮らしを守り、さまざまな災害に確実に対処する防災活動及び防災教育の拠点施設として整備(東日本大震災を踏まえて従来の建設案を検討)	市	H23～H26	検討中		【現状】 ・平成24年2月17日に防災センター建設に係る検討会を開催 ・建設地について検討中 【課題】 ・東日本大震災を踏まえ、従来の建設案を検討する必要がある	防災センター建設推進室
◎	地域防災計画整備事業【再掲】	・被災を踏まえた地域防災計画の見直し・修正 ・災害時における各種応急対応マニュアル作成	市	H23～H32	着手済	有	【現状】 ・震災対応について検証中 ・国・県の計画改定による市計画への反映部分を精査中 【課題】 ・土地利用計画などを踏まえた計画の策定	防災管理室
4 ◎	防災行政無線整備事業	・デジタル防災行政無線システムの整備(市内全域) [目標]親局1,中継局1,遠隔操作卓2,子局210,戸別受信機全戸配布,監視カメラ1など ・被災したアナログ施設の応急復旧(旧大船渡市地域) ・仮設住宅の難聴対策(旧大船渡市地域)	市	H23～	着手済	※有	【現状】 ・アナログ20局を応急復旧済 ・仮設住宅の難聴解消(2局) ・デジタル化に向け整備中 【課題】 ・難聴地域の解消	防災管理室
5 ◎	災害時情報伝達方法の整備	・市災害対策本部・地区本部、地域公民館、避難所などの相互連絡体制の確立(相互連絡手段及び情報収集体制)	市	H23～H27	着手済		【現状】 ・災害対策本部に衛星電話を設置 【課題】 ・避難所などにおける通信機器の管理	防災管理室

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興 交付金	現状と課題	担当課
追1 ○	防災市民メディア構築事業	災害時などにおける情報伝達手段の多様化を図るため、情報通信基盤を整備する ・サーバーの設置及び市内無線通信網の構築 ・FM機器の整備 ・市内企業などで構成するNPOによる運用体制の構築	市	H24	着手済		【現状】 ・情報通信基盤構築業務発注済(システム全体の設計・統合) ・市内無線通信網構築工事発注済(WiMAX基地局) ・FM放送設備構築工事発注準備中 【課題】 ・効果的な事業の推進を計る必要がある	防災管理室
6 ◎	潮位観測装置等整備事業	・潮位観測装置の復旧(下平、門之浜、越喜来)	市	H23～H25	未着手		【現状】 ・潮位観測装置は未復旧 【課題】 ・設置場所となる防潮堤などが未復旧	防災管理室
7 ◎	防災行政無線復旧事業	(三陸町地域) ・津波で流失した子局(6局)、漁港局(17局)、遠隔制御局(3局)の整備 ・津波被害を受けた親局の移設 1局 ・津波で流失した戸別受信機を対象世帯へ貸与 100台 ・応急仮設住宅への簡易子局整備 4局	市	H23	実施済	※有	【現状】 ・流失子局対応として田浜、崎浜、鳥頭、岩崎に簡易子局を設置し、仮復旧済 ・根白沿岸子局は復旧済 ・市役所本庁に親局を置き、三陸支所、綾里・吉浜地域振興出張所を直接専用回線で接続する方法で復旧済 ・戸別受信機については貸与を開始 ・応急仮設住宅への簡易子局については整備完了 ・デジタル化への移行を踏まえ、簡易方式で復旧する 【課題】 ・特になし	三陸支所
8 ◎	本庁舎改修事業	非常用発電機、内外壁、配管などの改修	市	H23～H24	着手済		【現状】 ・非常用発電機及び外壁欠陥部は改修済 【課題】 ・内壁などの改修が必要である	財政課
9 ◎	三陸支所仮庁舎の整備	被災した市役所三陸支所の機能を回復するため、三陸保健福祉センターを仮庁舎として復旧整備	市	H23	実施済		【現状】 ・仮庁舎として復旧済 【課題】 ・特になし	財政課
10 ◎	コミュニティー消防センター新築事業	・立地場所の検討 ・消防屯所の建設 ・消防団組織(部の統合)の検討	市	H23～H26	着手済		【現状】 ・被災した21棟を年間7棟ずつ再建し、3年で整備する予定 ・平成24年度分については、用地確定5カ所(3カ所測量済)、未定は2カ所 【課題】 ・用地の確保 ・工事業者の選定	消防署
11 ◎	消防施設整備事業	消防用水利の新設・修繕	市	H23～H28	検討中		【現状】 ・被災した土地の復興状況、高台移転などに合わせた新設・修繕について検討中 ・防火水槽の水位を定期的に調査 【課題】 ・他の復興事業の進捗状況に応じて進める必要がある	消防署
12 ◎	消防庁舎(仮設)整備事業	被災した三陸分署綾里分遣所の機能を回復するため、仮設車庫・倉庫を建設	消防組合	H23	実施済		【現状】 ・仮設車庫について設置工実施 【課題】 ・綾里分遣所本庁舎の復旧、移転先用地の確保	消防組合
新 ○	消防庁舎(三陸分署綾里分遣所本庁舎)復旧事業	津波で全壊した三陸分署綾里分遣所本庁舎の復旧	消防組合	H25	検討中		【現状】 ・復旧計画を検討中 【課題】 ・移転先用地の確保	消防組合
13 ○	消防救急無線施設・設備整備事業	アナログ式の消防救急無線施設をデジタル化し、機能強化を図るとともに、消防指令センターを整備	消防組合	H23～H24	着手済		【現状】 ・機器製造中、中継局については用地測量終了 【課題】 ・通信指令員の養成及び増員、本運用に向けての組織再編	消防組合

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課	
	14 ○	林野火災用活動拠点広場整備事業	被災した三陸空中消火補給基地ヘリコプター離着陸用広場を復旧	消防組合	H23	実施済	【現状】 ・修繕工事実施 【課題】 ・全面アスファルト舗装化、ヘリ離着陸時のダウンウォッシュによる仮設住宅、駐車車両への影響	消防組合	
施策エ 高齢者や障がい者など災害弱者に十分配慮した防災体制を整えます。									
	15 ○	災害時要援護者支援制度	要援護者に係る情報の収集・共有、避難支援プランなどの作成	市	H23～	検討中	【現状】 ・災害時要援護者支援のあり方について、市内介護従事者のワーキンググループにおいて検討中 【課題】 ・地域の実情にあわせた実効性のある計画づくり	保健介護センター	
	16 ○	福祉避難所の設置・運営	福祉避難所として利用可能な施設との協定の締結	市	H23～	検討中	【現状】 ・市内介護従事者のワーキンググループにおいて設置場所・運営について検討中 【課題】 ・協定の早期締結	地域福祉課 保健介護センター	
施策オ 建築物の構造を災害に強いものにするよう促します。									
	○	津波被災地域建築物安全対策事業【再掲】	建築基準法第39条に基づく災害危険区域の指定 ・建築物の構造、地盤高などによる建築規制	市	H23～	検討中	【現状】 ・土地利用計画や防災集団移転促進事業との調整を図りながら、津波浸水シミュレーションに基づく規制内容について検討中 【課題】 ・規制区域住民の合意形成	土地利用課	
	◎	学校施設防災機能強化事業【再掲】	旧耐震基準の学校施設の耐震補強工事などを実施 ・盛小学校：屋内運動場 ・末崎小学校：校舎 ・猪川小学校：校舎、屋内運動場 ・日頃市小学校：校舎、屋内運動場 ・大船渡北小学校：校舎、屋内運動場 ・綾里小学校：屋内運動場 ・第一中学校：屋内運動場 ・綾里中学校：校舎 ・越喜来中学校：校舎、屋内運動場	市	H23～H32	検討中	【現状】 ・事業化に向けて検討中 【課題】 ・効果的な事業推進を図る必要がある	生涯学習課	
施策カ 高層の避難場所を確保するなど、沿岸部などの防災機能を強化します。									
	17 △	津波避難ビル等の指定	浸水想定区域内において構造的要件を満たす施設を津波避難ビルなどとして指定	市	H23～	未着手	【現状】 ・高台への迅速な避難を基本とし、浸水区域内の土地利用が具体化した時点で、避難困難地域の設定について検討する 【課題】 ・浸水想定区域内の土地利用計画などと併せて検討する必要がある	防災管理室	
	○	道路新設・改良事業【再掲】	高台や防災拠点へのアクセス道路、災害時の避難路、緊急車両が進入できない狭隘道路、地盤沈下により冠水する道路、浸水区域内のまちづくりと一体となった道路などの整備 ・多重防災型まちづくり推進事業による県道整備（岩手県復興計画） ・三陸復興道路整備事業による県道整備（岩手県復興計画） 主要地方道大船渡広田陸前高田線 主要地方道大船渡綾里三陸線 県道崎浜港線 県道碁石海岸線 ・市道市役所庁舎前線、田茂山明神前線、大船渡北小学校線、山口6号線、沢田宮野線、細浦地区避難路、石浜海岸線、白浜地区避難路、浦浜地区避難路、吉浜中学校線ほか	県・市	H23～	着手済	有 ※有	【現状】 県道：道路計画について検討中 市道：5路線の測量設計発注済 【課題】 ・高台移転事業やまちづくりなどの土地利用計画や国道・県道の整備計画との整合を図る必要がある ・必要性・緊急性などを考慮しながら計画的に事業を実施する必要がある	建設課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課
方針② 防災教育や防災訓練を積極的に推進します。							
施策ア 今回の災害の記録を保存するとともに、津波に関する遺構やモニュメントを活用するなどして後世に伝えます。							
18 ○	震災資料記録事業	震災による被害や復旧・復興に関する写真・映像などを収集、整理し、記録として保存 ・収集方法:市はもとより、市民、関係団体などに対しても広く周知 ・保存方法:時系列的、各種分野別などに分類し、デジタルデータで保存	市	H23～	着手済	【現状】 ・防災科学技術研究所と共同で、市民や関係団体から震災関係の写真やビデオなどを収集している 【課題】 ・広く周知を図り、未収集資料を収集するとともに、資料の分類・保存を適切に進める必要がある	秘書広聴課
19 ○	災害誌編纂事業	震災の被災状況や対応・経過に関する情報などを収集し、災害誌として編纂	市	H23～	検討中	【現状】 ・編纂方針などを検討中 【課題】 ・被災データ・情報などの収集	防災管理室
20 △	防災教育事業	防災教育のための地域学習会の開催	国・県・市	H24～	着手済	【現状】 ・地域防災リーダー養成研修会を実施(県立福祉の里センターと共催) 【課題】 ・特になし	防災管理室 消防署
21 ○	防災文化醸成事業	・小学校などで津波防災に関する出前講座などを実施 ・学校における津波と避難についての学習	県・市	H23～	着手済	【現状】 ・各校の災害対応マニュアルを見直すとともに、防災に関する学習を実施中 【課題】 ・児童生徒の心のケアに留意しながら実施する必要がある	学校教育課
施策イ 市民各層に対して防災に関する教育活動を実施します。							
22 ○	防災マップ作成事業	新たな津波ハザードマップの作成	県・市 市民	H24～	未着手	【現状】 ・まちづくり構想などが具体化した時点で津波ハザードマップを作成する 【課題】 ・防潮堤などの防災施設が未復旧であり、浸水想定区域内の土地利用計画も未確定である	防災管理室
施策ウ 東日本大震災が発生した3月11日に、広く防災意識の高揚を図るための事業を実施します。							
23 ◎	慰霊祭の開催	東日本大震災が発生した3月11日に慰霊事業を実施	市	H23～	着手済	【現状】 ・平成24年3月11日に追悼式を開催(参加者:1,300人) 【課題】 ・国、県の追悼式との調整	防災管理室
24 △	防災訓練の実施	・防災訓練、津波避難訓練の実施(次の防災関連の日を中心に適宜実施) 5/24チリ地震津波、9/1防災の日、11/5津波防災の日、1/17防災とボランティアの日、3/11東日本大震災	市 関係機関 など	H24～	検討中	【現状】 ・訓練の実施日、内容などを検討中 【課題】 ・津波の被災地域に居住していた住民の大半が津波被害を受けない場所にある応急仮設住宅などに入居しており、大規模な津波避難訓練の実施は難しい状況にある	防災管理室
施策エ 市内全域または地域ごとに防災訓練を実施します。							
△	防災訓練の実施【再掲】	・防災訓練、津波避難訓練の実施(次の防災関連の日を中心に適宜実施) 5/24チリ地震津波、9/1防災の日、11/5津波防災の日、1/17防災とボランティアの日、3/11東日本大震災	市 関係機関 など	H24～	検討中	【現状】 ・訓練の実施日、内容などを検討中 【課題】 ・津波の被災地域に居住していた住民の大半が津波被害を受けない場所にある応急仮設住宅などに入居しており、大規模な津波避難訓練の実施は難しい状況にある	防災管理室

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課
方針③ 地域コミュニティ機能の維持・強化を図ります。							
施策ア 自主防災組織の育成・強化を支援します。							
25 △	地域防災力強化推進事業	自主防災組織の育成・強化(結成促進、リーダー養成、連合会組織の結成など)	市	H24～	着手済	【現状】 ・自主防災組織などに対する説明会を開催 ・新たに結成した自主防災組織に本部旗、腕章を作成・交付 【課題】 ・未結成地域の解消 ・活動が停滞している自主防災組織の活性化	防災管理室
施策イ ボランティア組織の育成・強化を支援します。							
26 ○	おおふなとボランティア活動連絡会支援事業(活動センター運営事業)	ボランティア組織の育成・強化の支援	社会福祉協議会	H23～	着手済	【現状】 ・支えあいまちづくり事業を実施中 ・平成24年度から復興ボランティアセンター運営補助事業を実施 【課題】 ・被災者のニーズとボランティア活動のマッチング	地域福祉課 保健介護センター
施策ウ 市民の自主的な地域づくり活動や拠点となる施設の整備などに対して支援します。							
27 ○	(仮称)市民活動支援センター設置事業	市民活動の活性化、公益団体などの連携及び行政との協働を図るため、さまざまな情報の提供、活動団体の相互交流の機会及び活動場所が提供できる施設の整備	市	H23～H25	検討中	【現状】 ・整備手法、必要な機能などについて検討中 【課題】 ・設置場所や財源の確保 ・効果的かつ効率的な運営	企画調整課
28 ○	越喜来地区拠点センター建設事業	被災した市役所三陸支所を移転し、地区住民の避難所を兼ねた拠点センターとして整備	市	H24～	未着手	【現状】 ・三陸支所機能については、三陸保健介護センターを改修し、仮庁舎として業務を再開している 【課題】 ・三陸支所のあり方や他の施設との調整など、建設にあたっては、十分な検討が必要である	三陸支所
◎	地域公民館整備支援事業【再掲】	市内地域公民館132館のうち、被災した地域公民館34施設の修繕、改築あるいは移転新築などの整備を支援	地域公民館市	H23～H32	着手済	【現状】 ・被災地域の意向を調査しながら対応している(5地域について支援済) ・被災した公民館の新築・修繕に対する補助金を補正予算措置(平成24年5月) 【課題】 ・用地の確保が課題であり、地域との協議を十分に行う必要がある	生涯学習課
29 ◎	綾里地区コミュニティ施設災害復旧事業	綾里地区コミュニティ施設の補修	市	H23～H24	着手済	【現状】 ・復旧工事中(下記の課題により工事中中断) 【課題】 ・事業実施中に新たな破損箇所が発見され、早急に復旧する必要がある	三陸支所
方針④ ライフラインや交通・物流などの機能を強化します。							
施策ア 関係機関の協力のもと、重要施設などへの重点・優先投資を行いながら、これら機能の早期復旧体制を整えるとともに、再生可能エネルギーの活用など、非常時の応急的な生活を支える方策について検討します。							
30 △	災害用物資備蓄事業	地域分散による備蓄品の配置、災害用物資の備蓄 ・備蓄品の配置:地区本部、自主防災組織など ・災害用物資の備蓄:毛布、簡易トイレ、水、非常食用料、発電機・照明器具など	市	H23～	着手済	【現状】 ・自主防災組織に支援物資などを分配 ・整備する資機材などを検討中 【課題】 ・保管場所の確保 ・整備した資機材などの保守点検	防災管理室

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課
31 △	災害時に関する協定の締結	各種団体との災害時における物資調達などに関する協定の締結 ・生活物資、燃料、資機材、要員	市 企業など	H23～	着手済	【現状】 平成24年9月11日にNPO法人コメリ災害対策センターと災害時における物資供給に関する協定を締結 【課題】 ・特になし	防災管理室
32 ○	NTT東日本復旧復興事業	今後拡大する生活圏の需要に対応した安定的通信サービスを提供 ・電力設備:重要通信ビルへの発電機などの設置 ・中継伝送路:内陸迂回ルートの確保 ・通信ビル:全壊、流失したビルの高台移設	NTT東日本	H23～	着手済	【現状】 ・三陸ビルの関連工事は、平成23年度に完成 ・内部設備の整備は、平成24年度事業で実施 【課題】 ・工事期間中の周辺環境への配慮	商業観光課
33 ○	再生可能エネルギー導入促進事業	再生可能エネルギーの活用による地産地消型エネルギー産業を復興の基礎とした、先駆的な医療・福祉や生活支援サービスの展開による超高齢化社会に適した地域づくりの推進など、国が構想する「環境未来都市」の構築に向けて、気仙管内の市町や関連企業などと連携した調査・研究、事業化への取り組み	市	H23～H28	着手済	【現状】 ・気仙広域環境未来都市推進共同事業体内に設置した5つのプロジェクトチームは、主要施設の基本設計や概念設計に向けた調査・検討を実施中 ・平成24年5月31日に企業や一般市民等を対象に気仙広域環境未来都市概要説明会を開催し、地元企業等の参画を促した ・気仙広域環境未来都市計画庁内推進委員会を設置 【課題】 ・他の復興関連事業との調整 ・地元企業の参画促進 ・参画事業者の確保 ・進出企業の誘致 ・気仙広域2市1町間の調整	企画調整課
施策イ 災害に備えた物資の備蓄や調達方法を強化します。							
△	災害用物資備蓄事業【再掲】	地域分散による備蓄品の配置、災害用物資の備蓄 ・備蓄品の配置:地区本部、自主防災組織など ・災害用物資の備蓄:毛布、簡易トイレ、水、非常用食料、発電機、照明器具など	市	H23～	着手済	【現状】 ・自主防災組織に支援物資などを分配 ・整備する資機材などを検討中 【課題】 ・保管場所の確保 ・整備した資機材などの保守点検	防災管理室
△	災害時に関する協定の締結【再掲】	各種団体との災害時における物資調達などに関する協定の締結 ・生活物資、燃料、資機材、要員	市 企業など	H23～	着手済	【現状】 平成24年9月11日にNPO法人コメリ災害対策センターと災害時における物資供給に関する協定を締結 【課題】 ・特になし	防災管理室
方針⑤ 広域的な観点を重視した災害時の応援・サポート体制を整えます。							
施策ア 医療・福祉をはじめさまざまな分野において、市内外の多くの機関との連携による相互支援体制を確立します。							
34 ◎	緊急時医療体制充実強化事業	関係機関と連携した災害時の救急医療体制の確立 ・対象:県や気仙医師会など関係機関 ・内容:平成24年度からの県によるドクターヘリ事業開始に伴う必要な体制などの整備 ・場所:県立大船渡病院など	県・市	H23～	着手済	【現状】 ・平成23年度は県立大船渡病院におけるヘリポートの設計業務終了、平成24年度はヘリポートの建設を予定している 【課題】 ・ドクターヘリ事業の円滑な運営のため、地元開業医の要望や協力体制について検討する必要がある	国保年金課

	事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興 交付金	現状と課題	担当課
35 △	災害時相互応援協 定締結促進事業	静岡県浜松市、東京都板橋区、兵庫県 宝塚市、鹿児島県大隅半島4市5町、山 形県最上町などとの災害時相互応援協 定締結を促進	市 関係市町村	H24～H28	着手済		【現状】 ・支援自治体から職員派遣や物 資などについて支援をいただい ている ・平成24年6月29日に板橋区と連 携協力協定を締結 ・他自治体との災害時相互応援 体制のあり方や内容については 検討中 【課題】 ・相互応援体制のあり方や内容 について調整する必要がある	企画調整課
36 △	災害時の支援ネット ワーク体制確立事 業	銀河連邦構成市町及び友好都市間による、災害が発生した際の人的な支援ネット ワーク体制の確立	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町による協定 に基づく支援をいただいている ・銀河連邦構成市町による災害 時の対応形態について、本部 (相模原市)で検討中 【課題】 ・窓口を一本化するなど、支援受 入体制・事務の整備・効率化を 図る必要がある	企画調整課
37 △	復興支援から相互 交流への展開事業	復旧・復興支援自治体との相互交流の 促進	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町などの物 産展の開催など、相互交流が円 滑に行われている ・平成24年6月29日に板橋区と連 携協力協定を締結 【課題】 ・物産展などによる交流のない 自治体とも相互に交流が図られ よう調整する必要がある	企画調整課
施策イ 環境未来都市構想を中心とした気仙2市1町の一層の連携推進をはじめ、三陸沿岸地域や岩手県内陸部の市町村など、自治体間の 相互支援体制を強化します。								
38 △	広域防災拠点整備 事業	・予防対策、応急対策における広域的な 防災拠点の整備 ・後方支援拠点との連携強化(住田町、 遠野市など)	国・県・市	H24～H29	未着手		【現状】 ・県において、平成24年度～平 成26年度に整備構想を策定する 予定 【課題】 ・特になし	防災管理室
39 ○	公共施設広域利用 促進事業	気仙2市1町の利用可能な公共施設の相 互利用について、広報紙やホームペ ージなどにより広く市民に周知	市	H23～H27	検討中		【現状】 ・公共施設の相互利用について は、市ホームページにより周知・ 公表を予定している 【課題】 ・特になし	企画調整課
△	災害時相互応援協 定締結促進事業 【再掲】	静岡県浜松市、東京都板橋区、兵庫県 宝塚市、鹿児島県大隅半島4市5町、山 形県最上町などとの災害時相互応援協 定締結を促進	市 関係市町村	H24～H28	着手済		【現状】 ・支援自治体から職員派遣や物 資などについて支援をいただい ている ・平成24年6月29日に板橋区と連 携協力協定を締結 ・他自治体との災害時相互応援 体制のあり方や内容については 検討中 【課題】 ・相互応援体制のあり方や内容 について調整する必要がある	企画調整課
△	災害時の支援ネット ワーク体制確立事 業【再掲】	銀河連邦構成市町及び友好都市間による、災害が発生した際の人的な支援ネット ワーク体制の確立	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町による協定 に基づく支援をいただいている ・銀河連邦構成市町による災害 時の対応形態について、本部 (相模原市)で検討中 【課題】 ・窓口を一本化するなど、支援受 入体制・事務の整備・効率化を 図る必要がある	企画調整課

事業名	事業概要	事業主体	事業期間	進捗状況	復興交付金	現状と課題	担当課
△ 復興支援から相互交流への展開事業【再掲】	復旧・復興支援自治体との相互交流の促進	市 関係市町村	H23～H28	着手済		【現状】 ・銀河連邦構成市町などの物産展の開催など、相互交流が円滑に行われている ・平成24年6月29日に板橋区と連携協力協定を締結 【課題】 ・物産展などによる交流のない自治体とも相互に交流が図られるよう調整する必要がある	企画調整課
○ 再生可能エネルギー導入促進事業【再掲】	再生可能エネルギーの活用による地産地消型エネルギー産業を復興の基礎とした、先駆的な医療・福祉や生活支援サービスの展開による超高齢化社会に適した地域づくりの推進など、国が構想する「環境未来都市」の構築に向けて、気仙管内の市町や関連企業などと連携した調査・研究、事業化への取り組み	市	H23～H28	着手済		【現状】 ・気仙広域環境未来都市推進共同事業体内に設置した5つのプロジェクトチームは、主要施設の基本設計や概念設計に向けた調査・検討を実施中 ・平成24年5月31日に企業や一般市民等を対象に気仙広域環境未来都市概要説明会を開催し、地元企業等の参画を促した ・気仙広域環境未来都市計画庁内推進委員会を設置 【課題】 ・他の復興関連事業との調整 ・地元企業の参画促進 ・参画事業者の確保 ・進出企業の誘致 ・気仙広域2市1町間の調整	企画調整課
施策ウ 災害時にすばやく対応できるボランティアネットワークを強化します。							
○ (仮称)市民活動支援センター設置事業【再掲】	市民活動の活性化、公益団体などの連携及び行政との協働を図るため、さまざまな情報の提供、活動団体の相互交流の機会及び活動場所が提供できる施設の整備	市	H23～H25	検討中		【現状】 ・整備手法、必要な機能などについて検討中 【課題】 ・設置場所や財源の確保 ・効果的かつ効率的な運営	企画調整課
○ おおふなとボランティア活動連絡会支援事業(活動センター運営事業)【再掲】	ボランティア組織の育成・強化の支援	社会福祉協議会	H23～	着手済		【現状】 ・支えあいまちづくり事業を実施中 ・平成24年度から復興ボランティアセンター運営補助事業を実施 【課題】 ・被災者のニーズとボランティア活動のマッチング	地域福祉課 保健介護センター